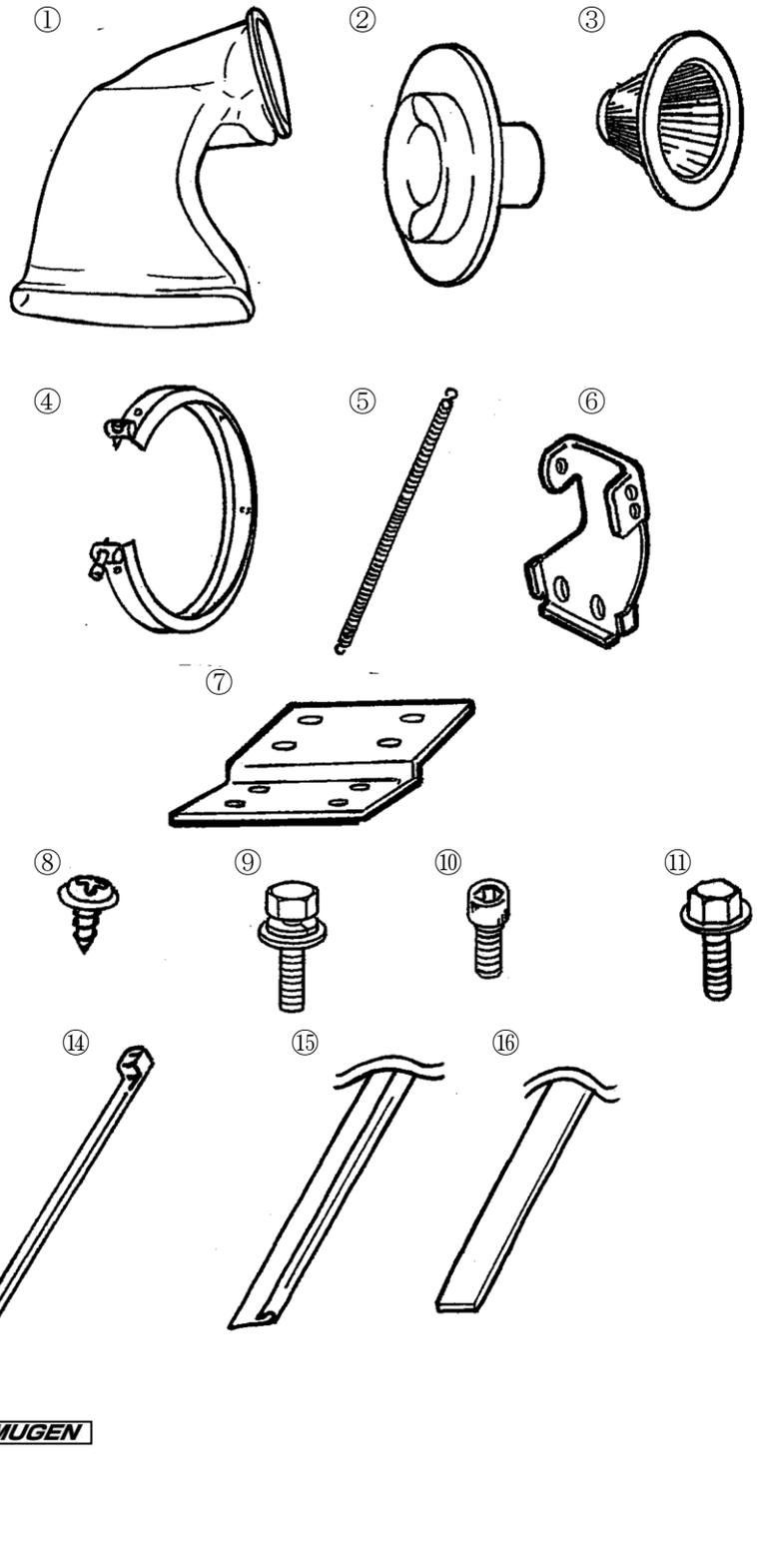


【構成部品表】

No.	PARTS NAME	QTY.
①	エアボックス	1
②	エア ファンネル	1
③	エア フィルター	1
④	バンド	1
⑤	スプリング	1
⑥	センサーステー	1
⑦	エアボックスステー	1
⑧	タッピングスクリュ 4×12	4
⑨	ワッシャボルトM6×14	4
⑩	ソケットボルトM5×10	3
⑪	フランジボルトM6×12	2
⑫	クランプ	2
⑬	ラバー	1
⑭	タイラップ	2
⑮	ゴムカバー	1
⑯	両面テープ	1
⑰	ステーA	1
⑱	ステーB	1
⑲	ステッカー	1

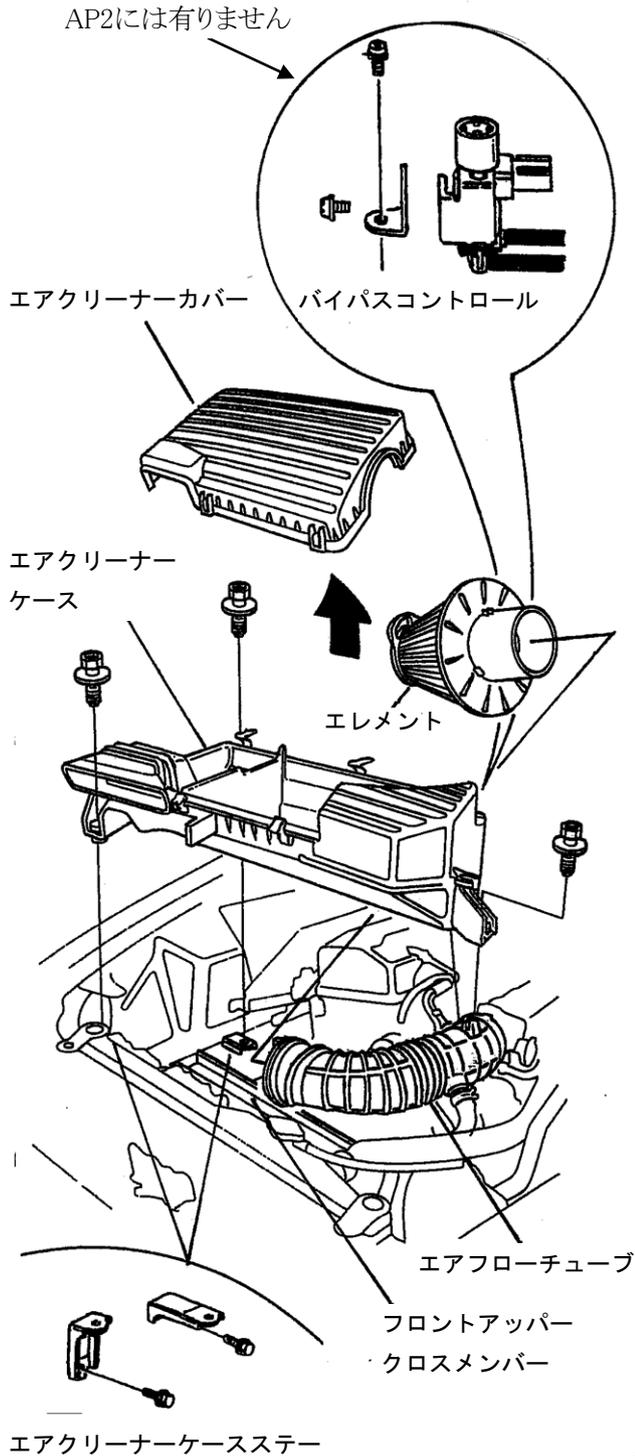


【必要工具】

- ・ラチェットレンチ, メガネレンチ(10mm)
- ・トルクレンチ
- ・六角レンチ(5mm)
- ・ \oplus \ominus ドライバー
- ・ニッパ, ラジオペンチ
- ・電気ドリル ϕ 3.2
- ・エアソー
- ・ベルトサンダー
- ・ディスクサンダー
- ・グラインダー
- ・ホワイトガソリン
- ・ガムテープ
- ・マスキングテープ
- ・タッチアップペイント

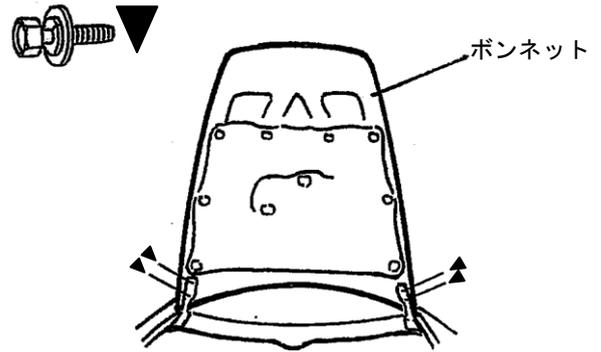
I. 純正部品の取外

- ①エアクリナーカバーを外す。
- ②エレメント・バイパスコントロール・ホース類を取り外す。
※インテークマニホールド内にゴミ等が入らぬようにエアフローチューブにウエス等をつめること。
- ③エアクリナーケースを取り外す。
(エアクリナーケースステーも外す。)

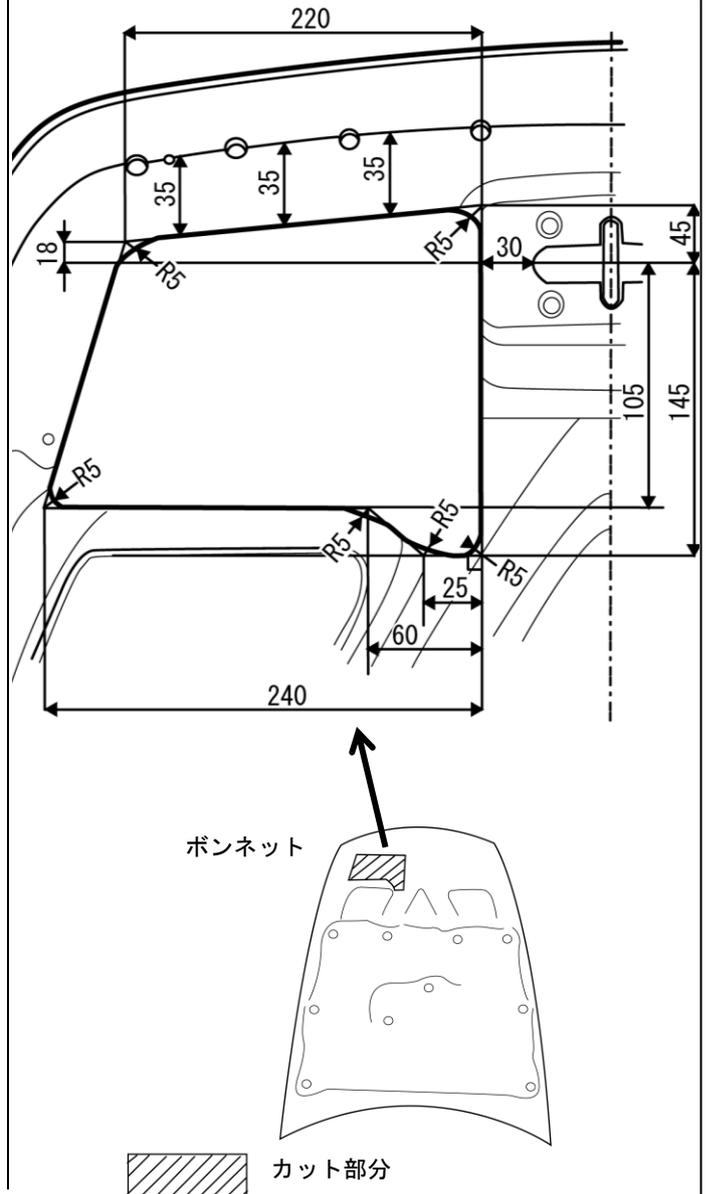


II. 取付準備

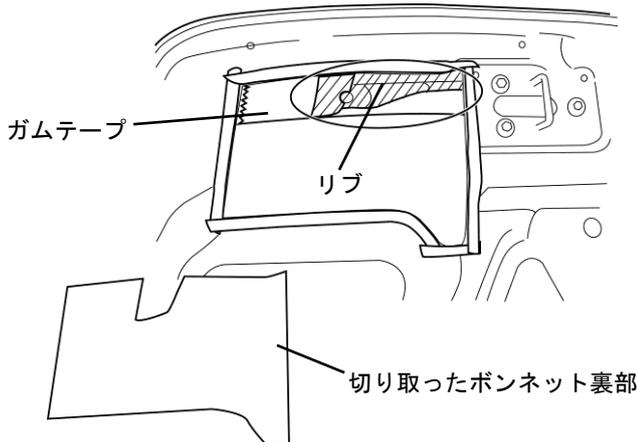
- ①ボンネットを取り外す。



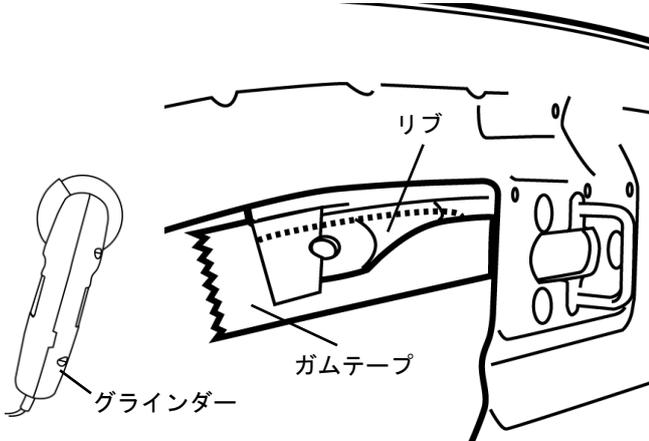
- ②ボンネット向かって左先端の内側をカットする。
※ボンネット塗装面を傷つけないように注意して作業すること。
※カットする際、周りに傷等をつけないよう、ガムテープ等でマスキングをする。



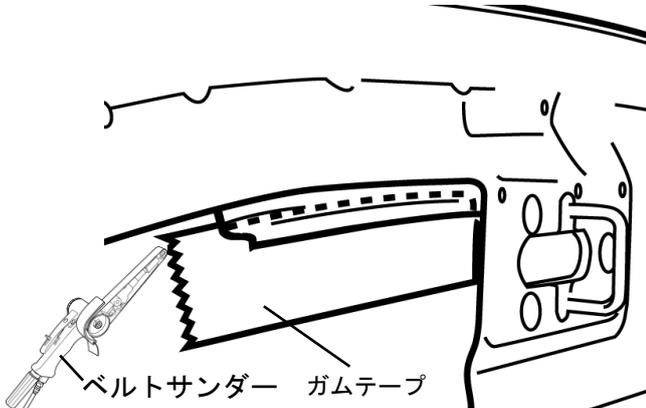
③カットすると、部分のリブが残ってしまうので、ボンネットに傷が付かないようガムテープ等を貼り付け、2回に分けて切り取る。



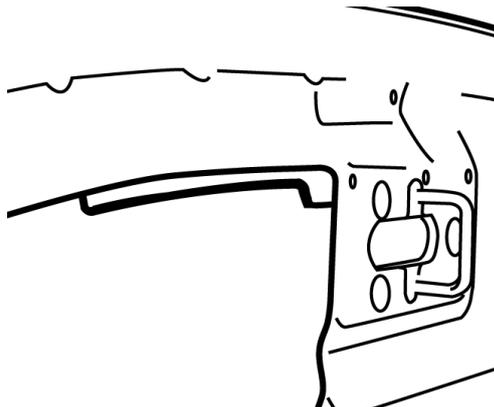
①グラインダーでリブ（点線部）を切る。



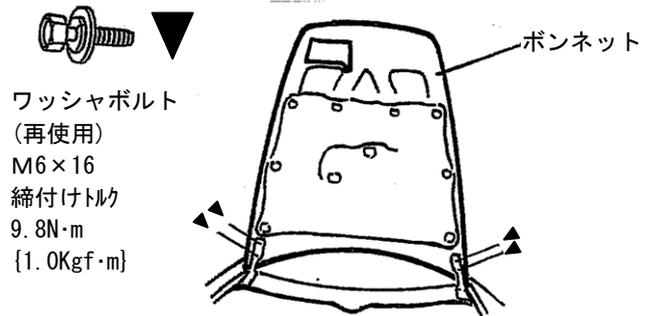
②ベルトンで点線部辺りを切る。



③カットの後、カット部をタッチアップペイントでタッチアップし、ガムテープをはがす。



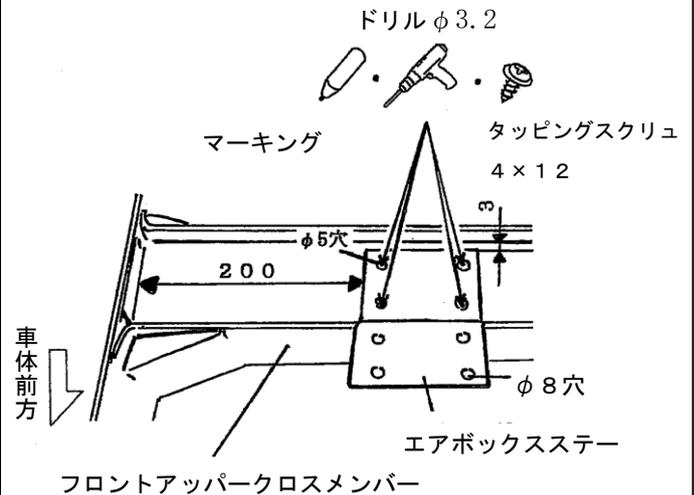
④ボンネットを取り外しと逆の手順で取り付ける。



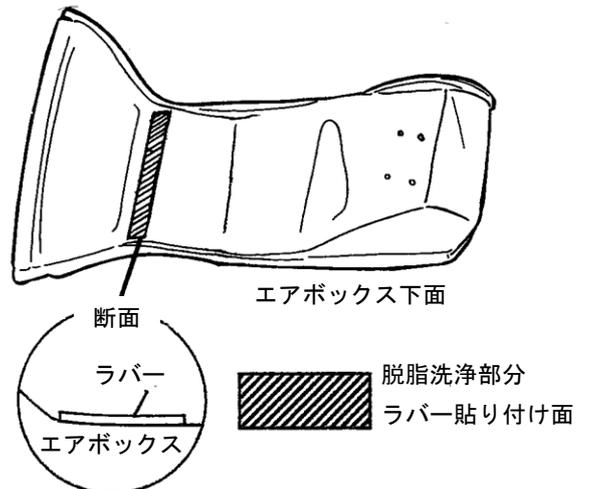
⑤フロントアッパークロスメンバーにエアボックスステーを図の位置に据え付け、穴位置をマーキングする。

⑥マーキング位置にドリルでφ3.2の穴を開ける。

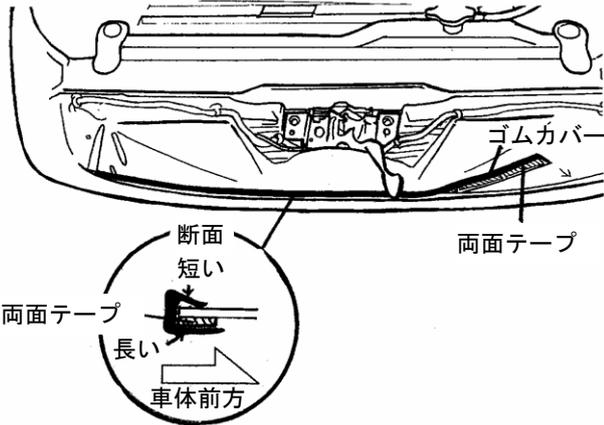
⑦エアボックスステーをタッピングスクリュ4×12で取り付ける。



⑧エアボックス底面をホワイトガソリンで脱脂洗浄しラバーを貼る。

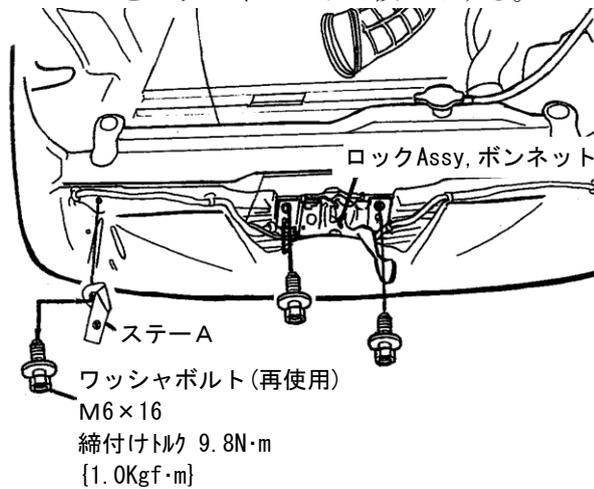


⑨両面テープを10cmづつの長さに切り、ゴムカバーの内側全面に貼り付け、車体に貼り付ける。



⑩ロック Assy, ボンネットを取り外す。

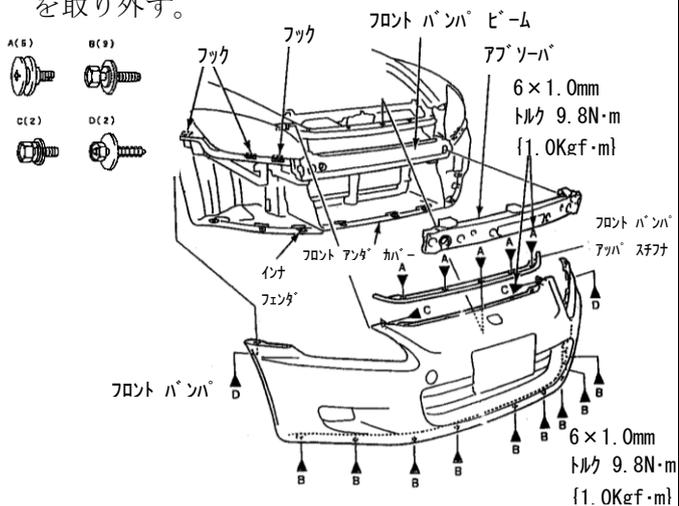
⑪ステーAをワッシャボルトで仮止めする。



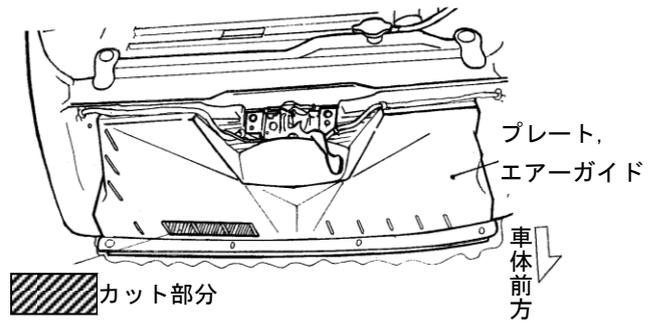
注意：無制限 フロント エアロ パンパ装着車は以下の作業は不要です。



⑫ボルトおよびスクリュを外し、フロントバンパのホイールアーチ部を引き出し、フロントバンパを取り外す。



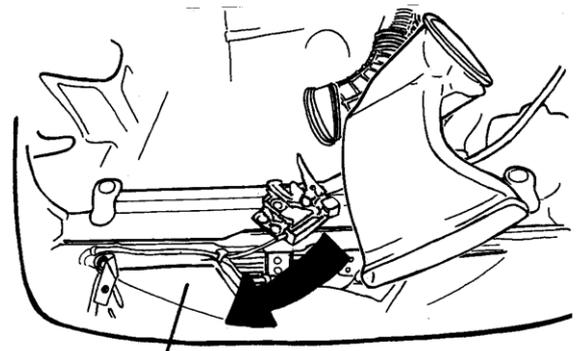
⑬エアボックスを取り付ける前に、プレート、エアガイドの斜線部をカットする。



⑭取り外しと逆の手順でフロントバンパを取り付ける。

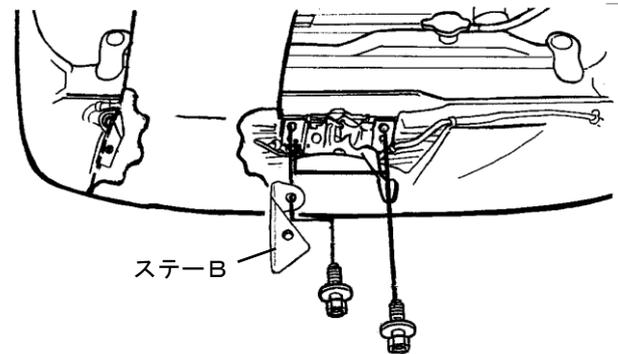
III. エアボックス取り付け

①エアガイドプレートを後方に押しながら、エアボックスを横方向より差し込む。



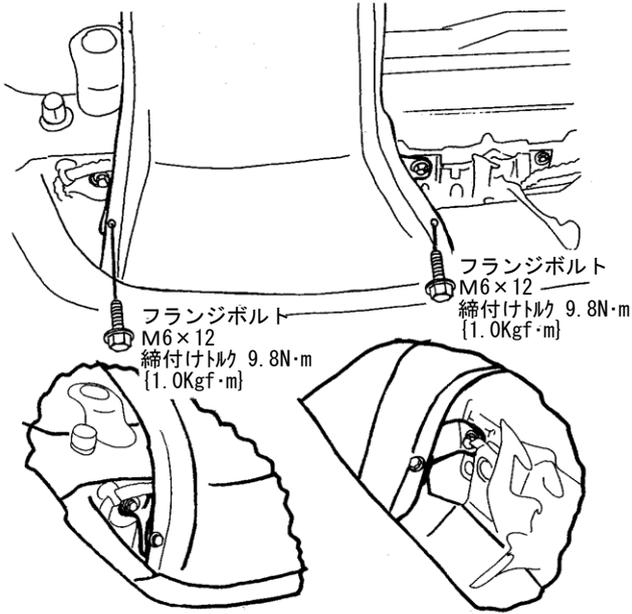
エアガイドプレート (黒色プラスチック)

②ロック Assy, ボンネットを元の位置に戻し、ステーBと共にワッシャボルト (再使用) で仮止めする。



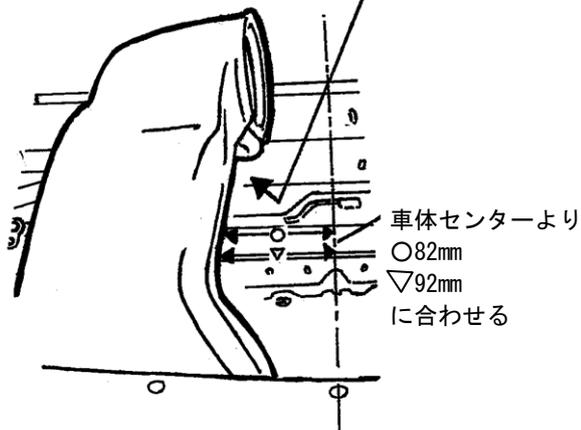
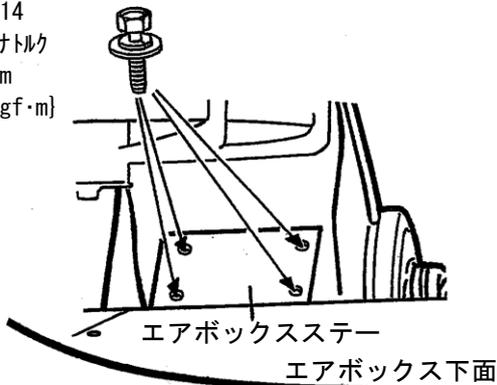
ワッシャボルト (再使用) M6×16 締付けトルク 9.8N・m {1.0Kgf・m}

③フランジボルトM6×12で仮止めする。



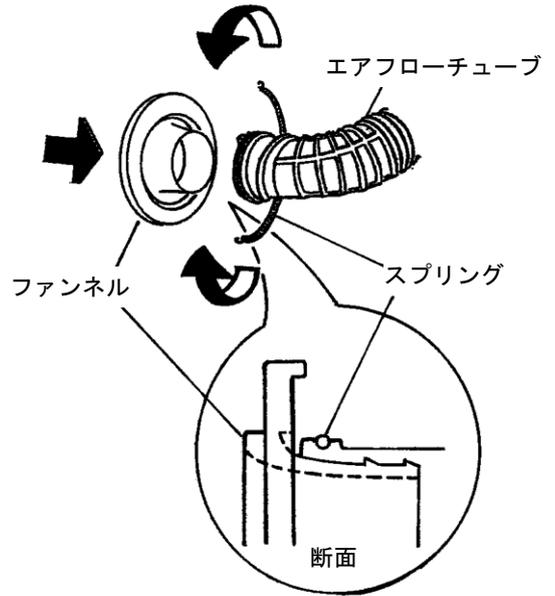
④エアボックスをエアボックスステーにワッシャボルトM6×14で仮止めする。

ワッシャボルト
M6×14
締付けトルク
9.8N・m
[1.0Kgf・m]



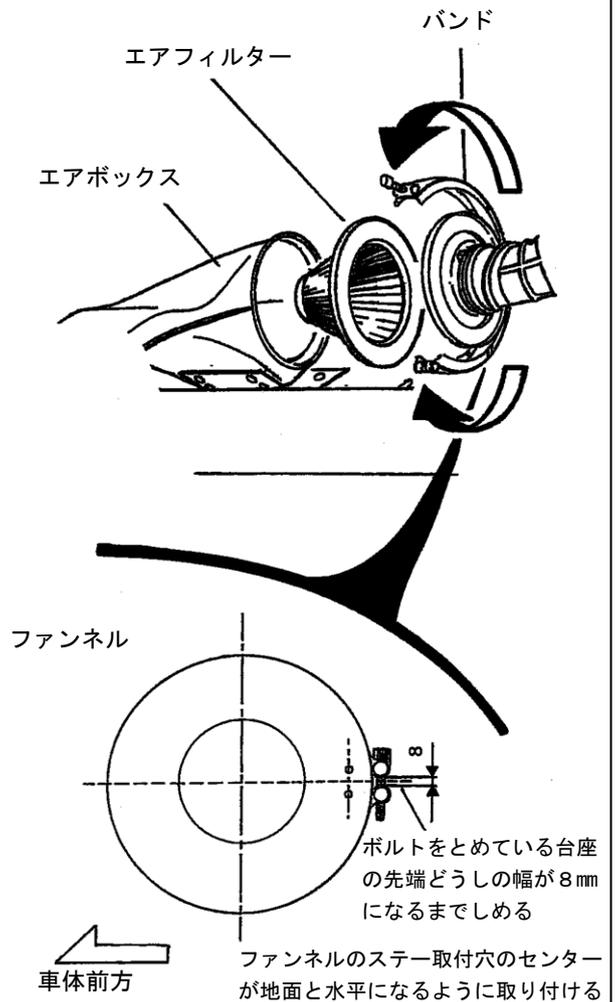
⑤各部のボルト類を本締めする。

⑥エアフローチューブ内のウエス等を取り去り、ファンネルをエアフローチューブにさし込み、スプリングで固定する。



⑦エアボックスにエアフィルターをさし込み、エアファンネルをはめ込む。

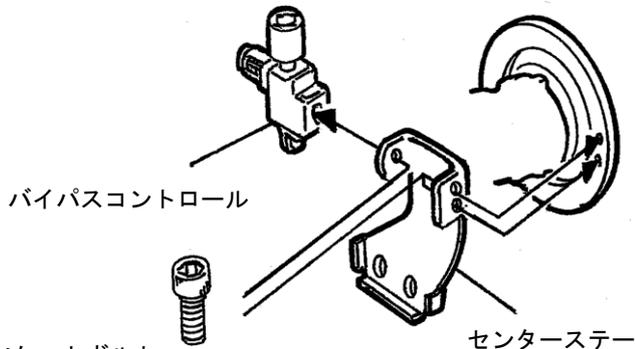
⑧エアボックス・エアフィルタ・エアファンネルを合わせ、バンドで仮止めする。



***AP2の場合⑨～⑪の作業は不要です。**

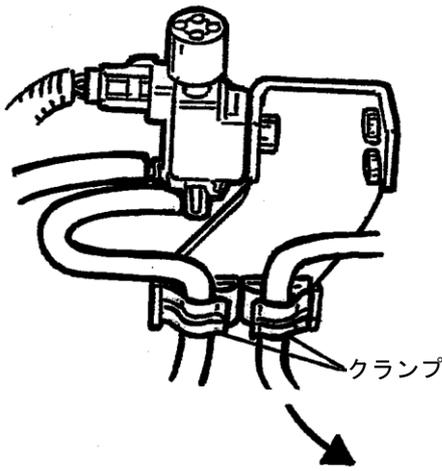
⑨バイパスコントロールにステアーをソケットボルトM5×10で取り付ける。

⑩ファンネルにバイパスコントロールの付いたステアーをソケットボルトM5×10で仮止めする。



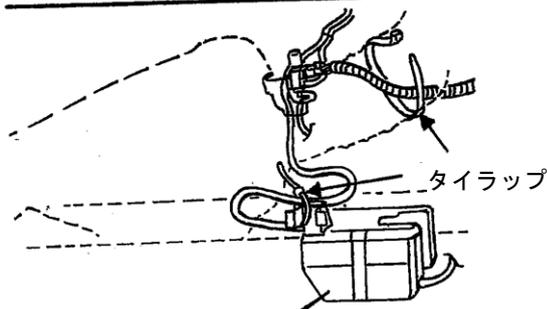
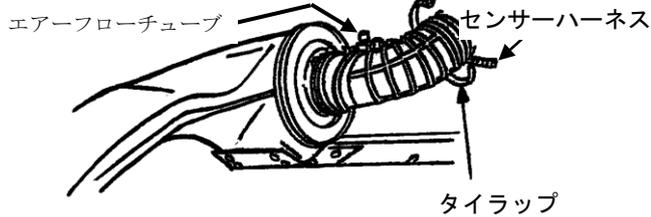
ソケットボルト
M5×10
締付けトルク 8.0N・m
{0.8Kgf・m}

⑪ステアーにクランプを取り付け、チューブを固定する。



バキュームタンクCOMPへ

⑫ホースとセンサーハーネスをタイラップでエアフローチューブとバキュームタンクに固定する。



バキュームタンク (AP2にはないです)

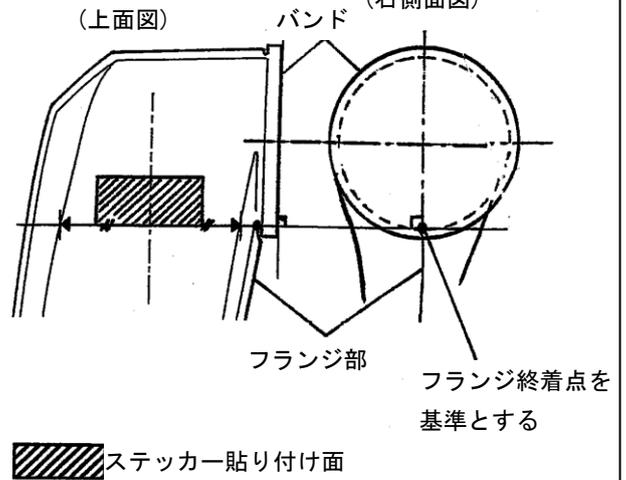
⑬各部のボルト類を本締めする。

⑭ステッカー貼り付け面をホワイトガソリンで脱脂洗浄し、ステッカーを貼り付ける。

エアボックス

(上面図)

(右側面図)



⑮各部のネジ・ボルト類にゆるみ等がない事を再度確認する。

⑯取り外した純正部品は、大切に保管する。

無限 MUGEN

S2000 AIR BOX

使用上の注意(重要)

* ご使用になる前に必ずお読み下さい。

【 ご注意 】

本製品は、外気吸入効果を高めるために設計、製作されており、純正品に対して取り扱いに注意を要する部分があります。以下の点をよくご理解の上、取付作業をし、ご使用ください。

エンジン内部に水が入るとエンジン停止など故障の原因になります。製品は万全を期しておりますが、エアボックスから水を吸い込まないよう、下記の場合は特に注意して運転して下さい。

◆ 15cm以上の深い水たまりは絶対に走行しないで下さい。

深い水たまりや冠水状態の中を走ると、外気吸入孔(ダクト)より水が入り、エンジンが水分を吸い込み、突然故障したり停止します。台風や豪雨などで、ダクトが水没するような異常天候下での走行時は、特にご注意下さい。

車高の下がっている車両は、ダクト部分の地上高も下がるため、特にご注意下さい。

◆ フロントバンパーに穴開け加工したり、外気導入できる開口部の大きいエアロバンパーなどに交換すると、ダクトから水を吸い込みやすくなる恐れがあるためご注意下さい。

深い水たまりは絶対に走らないこと！

